

令和5年7月13日

県土整備部道路課

## 『EST交通環境大賞』において奨励賞を受賞しました

これまで奥入瀬溪流において取り組んで参りましたマイカー交通規制や、奥入瀬溪流エコロードフェスタが評価され、この度、第13回EST交通環境大賞<sup>1)</sup>の奨励賞を受賞しましたのでお知らせします。

つきましては、表彰式が以下のとおり執り行われますので、周知、報道方よろしく願いいたします。

### 記

1. 日時 令和5年7月18日(火) 13:30~17:10
2. 場所 ルポール麴町 2階「ロイヤルクリスタル」
3. 主催 EST普及推進委員会、公益財団法人エコロジー・モビリティ財団
4. 賞名 奨励賞
5. 受賞団体 奥入瀬溪流利用適正化協議会<sup>2)</sup>、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会<sup>3)</sup>
6. 受賞理由 20年以上にわたりマイカー交通規制を実施してきたことや、奥入瀬溪流エコツーリズムの活動を絶やさぬよう実施してきたことが、奥入瀬溪流の環境保全に貢献したと評価
7. 表彰式出席者 十和田市長 小山田 久 (奥入瀬溪流利用適正化協議会会長)  
一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構 理事長 小野田 金司  
(奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会会長)

報道機関用提供資料	
担当課	県土整備部道路課
担当者	整備推進G 相馬 良璽
電話番号	直通：017-734-9651 内線：6712
報道監	県土整備部理事 古市 秀徳

※1 EST (Environmentally Sustainable Transport : 環境的に持続可能な交通) 交通環境大賞とは、地域の交通環境対策に関する取組を発掘し、優れた取組の功績や努力を表彰するとともに、その取組を広く紹介し、普及を図るため、主催者が創設した表彰制度です。

大賞 (国土交通大臣賞、環境大臣賞) : 最も優れている地域の交通環境対策の取組みを表彰

優秀賞 : 大賞に準じて優れていると評価される取組みを表彰

奨励賞 : 地域に根差し日々努力を重ねている団体の功績に対する表彰

個別取組みで顕著な成果を上げているものを表彰

※2 奥入瀬溪流利用適正化協議会とは、奥入瀬溪流を中心とする区域の環境保全のため、当区域における交通規制の具体的推進及びこれに伴う諸問題の解決策の検討を行うことを目的とした協議会です。

※3 奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会とは、奥入瀬溪流の環境保全に資する活動やマイカー交通規制中の関連活動をとおして、環境保全の理解浸透を図り、もって奥入瀬溪流の永続的な保全と、自然環境を活かした当該地域の地域振興・観光振興を図ることを目的とした委員会です。



## 「第13回 EST 普及推進フォーラム」開催ご案内 ～地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラル～



【写真】左上：姫島の海岸線を走るグリーンスローモビリティ(T-PLAN 株式会社、一般社団法人姫島エコツーリズム)  
 中上：水素ステーションと水素燃料電池自動車(鹿追町)  
 右上：まちなみを走るカート(世界遺産石見銀山大森地区における GSM を中心とした地域内交通整備事業コンソーシアム)  
 左下：奥入瀬渓流へのアクセスはシャトルバスに乗って(奥入瀬渓流利用適正化協議会、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会)  
 中下：歩行空間拡大社会実験(城崎温泉交通環境改善協議会)  
 右下：サイクリストに優しい宿(和歌山県)

EST(Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第13回 EST 普及推進フォーラム」を開催します。

また、「第13回 EST 交通環境大賞」※の表彰を本フォーラムの中で行います。

基調講演にてモビリティ革命が脱炭素化を実現する条件について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラルについて検討します。

EST・交通環境対策の最新情報を入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

日時：2023年7月18日(火) 13:30～17:10 (13:00 受付開始)

会場：ルポール麴町 2階「ロイヤルクリスタル」  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-3

主催：EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後援：国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、  
公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、  
一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会



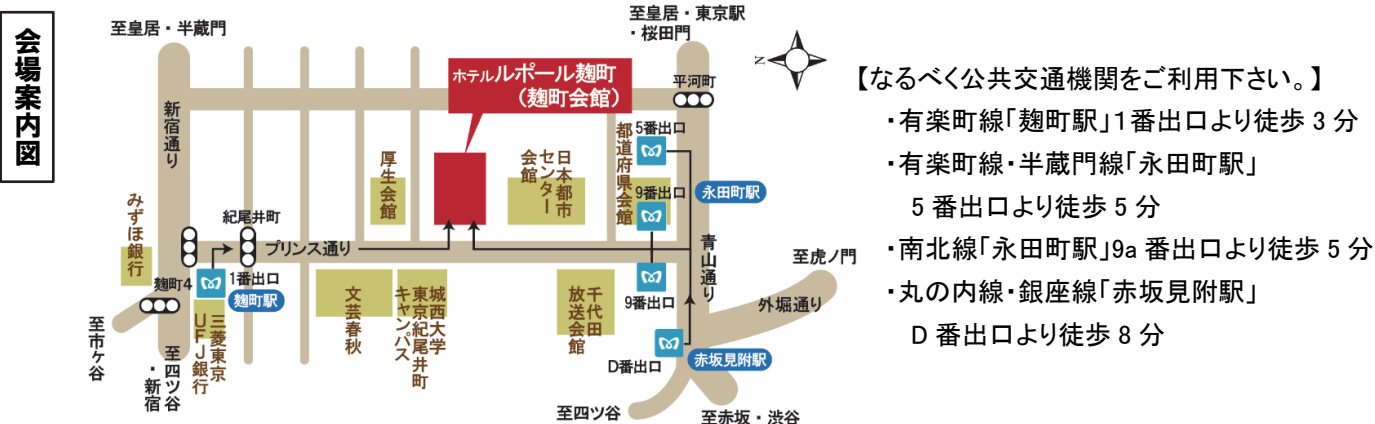
環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

## プログラム：

- 13:30 開会挨拶
- 13:40 基調講演「モビリティ革命が脱炭素化を実現する条件」  
(講演者：加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科 教授)
- 14:20 第13回 EST 交通環境大賞 表彰式 (国土交通大臣賞、環境大臣賞、優秀賞、奨励賞)  
講評：EST 普及推進委員会委員長 加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科 教授
- 14:50 (休憩 14:50~15:05)
- 15:05 受賞団体講演  
講演1 大賞 国土交通大臣賞「離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み」  
(講演者：佐藤 篤司 T-PLAN 株式会社 取締役副社長)  
講演2 大賞 環境大臣賞「『家畜ふん尿由来水素』を核とした EST モデル事業」  
(講演者：喜井 知己 鹿追町長)
- 15:45 受賞団体ミニ講演  
ミニ講演1 優秀賞「世界遺産石見銀山大森地区におけるグリーンスローモビリティ (GSM) 『ぎんざんカート』の運行」  
(講演者：下垣 英樹 大田市産業振興部 観光振興課長)  
ミニ講演2 奨励賞「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」  
(講演者：鈴木 英宗 青森県県土整備部 道路課長)  
ミニ講演3 奨励賞「地域一体となった『そぞろ歩きルール』の実施」  
(講演者：西村 総一郎 城崎温泉交通環境改善協議会 会長)  
ミニ講演4 奨励賞「WAKAYAMA8∞ ~サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり~」  
(講演者：林 正尚 和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課長)
- 16:05 パネルディスカッション  
「地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラル」  
コーディネーター：谷口 綾子 筑波大学システム情報系 教授  
パネリスト：加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科 教授  
佐藤 篤司 T-PLAN 株式会社 取締役副社長  
喜井 知己 鹿追町長  
河村 政二 レンタサイクル河村 代表  
鈴木 英宗 青森県県土整備部 道路課長  
西村 総一郎 城崎温泉交通環境改善協議会 会長  
林 正尚 和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課長  
大野 浩史 国土交通省総合政策局環境政策課 環境政策企画官  
福島 健彦 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長
- 17:10 閉会

- 会場付近の展示スペースにおいて、上記の受賞団体や EST に積極的に取り組む団体のパンフレットやチラシ等を展示する予定です。
- 上記の講演者・内容等は事情により予告なく変更することがございます。ご了承ください。最新の情報は下記ポータルサイトをご覧ください。



参加費：無料

申込方法：「環境的に持続可能な交通 (EST) ポータルサイト」内の「第13回 EST 普及推進フォーラム」開催ご案内 (<https://www.estfukyu.jp/forum15.html>) よりお申し込みください。(定員になり次第〆切)

問合せ先：環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 (担当：中道)  
TEL：03-5844-6268 E-mail：[forum@estfukyu.jp](mailto:forum@estfukyu.jp)

開催案内





## 第13回 EST 交通環境大賞 受賞団体の決定について

2023年5月24日

環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

EST 普及推進委員会（委員長：加藤博和／名古屋大学教授）は、「第13回 EST 交通環境大賞」（主催：EST 普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、後援：国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会）<sup>1</sup>の各賞を決定しました。

EST 交通環境大賞は、わが国における EST の更なる普及のために、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図ることを目的に、2009 年度に創設したものです。

今回は、応募のあった 16 件の中から、EST 普及推進委員会における審査を経て、大賞 2 件、優秀賞 1 件、奨励賞 3 件を、それぞれ以下のとおり決定しました。

賞	受賞団体名	主な取組みの名称
大賞	【国土交通大臣賞】 〇T-PLAN 株式会社、一般社団法人姫島エコツーリズム <small>おおいたけんひがしくにさきぐんひめしまむら</small> (大分県東国東郡姫島村)	離島の課題に再エネと小型 EV を活用した取り組み
大賞	【環境大臣賞】 〇鹿追町 <small>ほっかいどうかとうぐんしかおいちょう</small> (北海道河東郡鹿追町)	「家畜ふん尿由来水素」を核とした EST モデル事業
優秀賞	〇世界遺産石見銀山大森地区における GSM を中心とした地域内交通整備事業 コンソーシアム <small>しまねけんおおだし</small> (島根県大田市)	世界遺産石見銀山大森地区におけるグリーンスローモビリティ (GSM) 「ぎんざんカート」の運行
奨励賞	〇奥入瀬溪流利用適正化協議会、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会 <small>あおもりけんとわだし</small> (青森県十和田市)	奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト
奨励賞	〇城崎温泉交通環境改善協議会 <small>ひょうごけんとよおかしきのさきちょう</small> (兵庫県豊岡市城崎町)	地域一体となった「そぞろ歩きルール」の実施
奨励賞	〇和歌山県 <small>わかやまけん</small> (和歌山県全域)	WAKAYAMA8∞ ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～

表彰式は7月18日（火）13:30より東京都千代田区のルポール麹町「ロイヤルクリスタル」において開催される「第13回 EST 普及推進フォーラム」の中で行います。受賞団体による講演等も予定しています。

最新の情報は EST ポータルサイト (<https://www.estfukyu.jp/>) をご覧ください。

本件に関する問い合わせ

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 電話：03-5844-6268  
担当：中道

<sup>1</sup>主催、後援に加え、公益社団法人土木学会、一般社団法人交通工学研究会、公益社団法人日本交通計画協会、一般財団法人日本自転車普及協会、一般社団法人日本シェアサイクル協会から協力をいただきました。



【写真】

左上：姫島の海岸線を走るグリーンスローモビリティ

(T-PLAN 株式会社、一般社団法人姫島エコツーリズム)

右上：水素ステーションと水素燃料電池自動車（鹿追町）

中段：まちなみを走るカート

(世界遺産石見銀山大森地区における GSM を中心とした地域内交通整備事業コンソーシアム)

左下：奥入瀬渓流へのアクセスはシャトルバスに乗って

(奥入瀬渓流利用適正化協議会、奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会)

中下：歩行空間拡大社会実験（城崎温泉交通環境改善協議会）

右下：サイクリストに優しい宿（和歌山県）

**【奨励賞】奥入瀬溪流利用適正化協議会、奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会**

**「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」**

**(概要)**

青森県十和田市の国立公園内に位置する国内有数の観光地である奥入瀬溪流では、観光による渋滞や路上駐停車、騒音等が問題となっていた。

そのため、青森県では、奥入瀬溪流の自然環境保全と、奥入瀬溪流沿いの国道の渋滞解消を目的に、奥入瀬溪流利用適正化協議会を立ち上げ、20年以上にわたりマイカー交通規制を実施してきた。

その上で、県では奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会を2008年に立ち上げ、以下の取組みを実施している。

- 奥入瀬溪流内をマイカー以外で訪れる交通手段として駐車場と奥入瀬溪流内の名所を結ぶシャトルバスを運行
- 自然環境保全と持続可能な観光振興を考えるフォーラムの実施
- 高校生ボランティアガイドによるエコツーリズムの推進
- 十和田市内の小中学校を対象にエコツーリズムの取組みの紹介や奥入瀬溪流の成り立ちについての環境教育を行う「『未来の奥入瀬』体験ツアー」の実施

**(授賞理由)**

20年以上にわたり奥入瀬溪流の自然環境を保全するための活動に取り組んでいる点が評価できる。コロナ禍では感染拡大防止の観点から中止したものの、2022年度から小中学校を対象とした環境教育の実施、シャトルバスの運行等を再開し、奥入瀬溪流エコツーリズムの活動を絶やさぬように努めている。国立公園内で施設整備等に関する制約があり、かつ国道でのマイカー交通規制という様々なハードルを越えて、実績を重ねて環境保全に貢献したことを評価して、奨励賞を授賞することとした。

## EST普及推進委員会

(敬称略)

### ○委員長

加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科 教授

### ○委員

稲田 浩二 公益社団法人日本バス協会 常務理事

田中 正実 一般社団法人日本自動車工業会 次世代モビリティ領域長

谷口 綾子 筑波大学システム情報系 教授

辻 正剛 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会 常務理事事務取扱兼事務局長

野澤 和行 一般社団法人日本民営鉄道協会 常務理事

森本 章倫 早稲田大学理工学術院創造理工学部 教授

(以上、五十音順)

光安 達也 国土交通省総合政策局 環境政策課長

宮地 広樹 警察庁交通局交通規制課 課長補佐

福島 健彦 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長

### ○事務局

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

以上